

第十三講 学習調査レポート

課題：シュメール人の国家と社会の諸モデルを紹介・説明せよ。

狙い

近代ヨーロッパ人のオリエント像とそれに対する批判としての今日のオリエント像を比較できているかどうかを調べる。

マルクスに代表されるアジア的共同体（私有地の欠如・大家族構成・個人の自立の欠如）やウェーバーの古代オリエント像（封建的関係の存在・公有地の欠如・官僚制の重圧・個人の欠如）

古典学説のマルク共同体論（私有制原理への過渡期という位置づけ・土地の定期的割り替え）やジェイコブセンの原始民主政・原始王政・カリスマ的原始帝国・官僚制的民族国家への発展段階論の問題点への指摘。

ディアコノフに代表される古代ギリシアとの等質論。古代都市における自治と自律性。長老会や民会による古代民主政原理の存在。中原によるデスポティズム論。

これらの対比が出来ているかどうか、またそれぞれのモデルの有効性と問題点を指摘できているかどうかを評価基準とする。